

建通新聞

東京

発行所 建通新聞社
首都圏本部東京支社
東京都港区新橋4-9-1
新橋プラザビル16階
〒105-0004 電話(03)5425-2070
多摩支局 電話(042)527-7291
<http://www.kentsu.co.jp/>
新聞定価6ヵ月 40,200円(税込)

©建通新聞社 2018

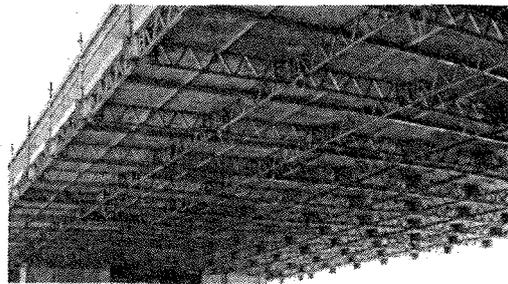
発行紙
神奈川/静岡/中部/大阪/岡山
香川/徳島/愛媛/高知

日綜産業

VE登録に選定 「クイックデッキ」

日綜産業(中央区)の先行床施工式フロア型システムつり足場の「クイックデッキ」が、NETISの活用促進技術(VE登録)に選定された。国土交通省四国地方整備局の新技術活用評価会議の審議を経て、18日からNETISのホームページで公開している。

クイックデッキは14年



6月に供給を開始し、15年5月にNETISに登録。

システム化した部材を水平旋回し、常に作業床を先行してつり足場を構築。大空間建築物や橋梁の改修など、これまでに340以上の現場で採用され、今回VE登録に選定された。熟練した作業を必要としない他、板張り防護機能を備えるため隙間や段差がない安全な作業床が可能になる。

福島 建設工業新聞

発行所

福島市西中央2丁目59
(郵便番号960-8074)

福島建設工業新聞社

電話(024)534-7456(大代表)

©福島建設工業新聞社

(公社)日本専門新聞協会加盟紙

NETIS

活用促進技術に選定

日綜産業のクイックデッキ

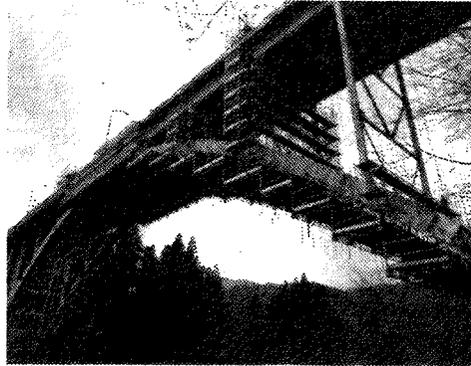
日綜産業の主力製品・先行床施工式フロア型システム吊足場「クイックデッキ」が、NETIS(国土交通省新技術情報提供システム)の活用促進技術に選定された(V E登録Ⅱ登録番号TH-150007-VE)。クイックデッキは26年6月発表、27年5月には工場やホールなどにNETIS登録を行った。登録以降、国土交通省案件での施工実績および事後評価を重視し、評価会議で審議の結果、昨年12月11日付で活用促進技術に選定された。今月18日からNETISホームページで公開されている。

クイックデッキは、橋梁の桁下などに仮設の作業フロアを構築し、鋼橋・PC橋などの補修・補強工事の際の仮設の吊り足場として適用できる。橋梁以外の

クイックデッキは、橋梁の桁下などに仮設の作業フロアを構築し、鋼橋・PC橋などの補修・補強工事の際の仮設の吊り足場として適用できる。橋梁以外の

クイックデッキは、橋梁の桁下などに仮設の作業フロアを構築し、鋼橋・PC橋などの補修・補強工事の際の仮設の吊り足場として適用できる。橋梁以外の

クイックデッキは、橋梁の桁下などに仮設の作業フロアを構築し、鋼橋・PC橋などの補修・補強工事の際の仮設の吊り足場として適用できる。橋梁以外の



クイックデッキの採用事例

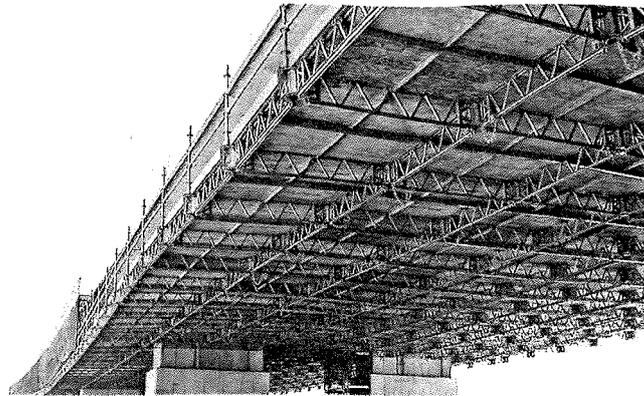
クイックデッキは、橋梁の桁下などに仮設の作業フロアを構築し、鋼橋・PC橋などの補修・補強工事の際の仮設の吊り足場として適用できる。橋梁以外の

クイックデッキは、橋梁の桁下などに仮設の作業フロアを構築し、鋼橋・PC橋などの補修・補強工事の際の仮設の吊り足場として適用できる。橋梁以外の

クイックデッキは、橋梁の桁下などに仮設の作業フロアを構築し、鋼橋・PC橋などの補修・補強工事の際の仮設の吊り足場として適用できる。橋梁以外の

クイックデッキは、橋梁の桁下などに仮設の作業フロアを構築し、鋼橋・PC橋などの補修・補強工事の際の仮設の吊り足場として適用できる。橋梁以外の

クイックデッキは、橋梁の桁下などに仮設の作業フロアを構築し、鋼橋・PC橋などの補修・補強工事の際の仮設の吊り足場として適用できる。橋梁以外の



NETIS 活用促進技術に

日綜産業(東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目10-1)小野大社長の主力製品である先行床施工式フロア型システム吊足場「クイックデッキ」が、国土交通省のNETIS

日綜産業

登録において活用促進技術に選定された。活用促進技術は、総合評価落札方式において有利となるほか、工事成績評点で加点対象となるなどのインセンティブが付与されるため、今後、同製品のさらなる普及が期待される。クイックデッキは、橋梁の桁下などに仮設の作業フロアを構築し、補修・補強工事の仮設吊り足場として用いられるほか、工場やホールなどの大空間建築物、ビルやショッピングセンターの吹き抜け部の天井仕上げ・補修工事などで活用されている。

フロア型吊り足場「クイックデッキ」

観点からはもちろん、機能性や施工性など従来製品を上回る特性が高い評価を得ている。NETIS登録は2015年5月に行っており、このほど開催された四国地方整備局の新技术活用評価会議において活用促進技術として位置付けられたもの。クイックデッキの採用実績は昨年12月末時点で343現場で、同社広報室では「今後も採用件数を増やし、推奨技術をめざしていきたい」としている。



発行所

日刊岩手建設工業新聞社

本社 盛岡市本町通3丁目9番33号
 電話 019(623)8201
 ファクス 019(623)8204
 振替口座 02320-3-3405
 購読料 (1ヵ月) 7,508円

<http://www.nikkaniwate.co.jp>

活用促進技術に選定

クイック
デッキ 国交省のNETISに

日綜産業(株)

日綜産業(株)(本社・東京都中央区、小野大社長)は、先行床施工式フロア型システム吊足場「クイックデッキ」が国交省の新技术情報システム(NETIS)の活用促進技術に選定されたと発表した。クイックデッキは、

橋梁の桁下などに仮設の作業フロアを構築する技術。鋼橋・PC橋などの補修・補強工事の際の仮設の吊り足場として適用できるほか、橋梁以外では工場やホールなどの大空間建築物、ビルやショッピングセンターの吹き

抜け部の天井仕上げ・補修工事などに活用できる。工事の間、クイックデッキの下はフリーな空間となるため、別の工事や物の搬入、人の往来が可能になる。また工場のラインを止めずに作業したり、精密機器に触れることなく天井工事などが実施できる。

2014年に発表された、15年5月にはNETISに登録。登録以降、国交省案件の施工実績・事後評価を重ね、このほど四国地方整備局の新技术活用評価会議で審議された結果、

活用促進技術に位置付けられ、VE登録に選定された。活用促進技術を提案すると総合評価されるほか、施工者希望型の工事成績評定で最大4点の加算対象となる。

同技術の採用実績は、17年12月末現在で343件。橋梁の改修・更新工事のほか、大型ショッピングモールや航空機組立工場新築の天井工事、精密機械工場や駅舎の天井改修、新幹線高架橋の改修工事など幅広く活用されている。

問い合わせは、同社クイックデッキ事業部・広報室(電話03-6891-3246)。

建設新聞



発行所
建設新聞社

〒980-0821 仙台市青葉区春日町7-5

市外局番(022)221-下記番号

総務部 4601

FAX221-4633

編集部 4602

FAX217-4170

編集事業部 4603

FAX221-4637

営業部 4604

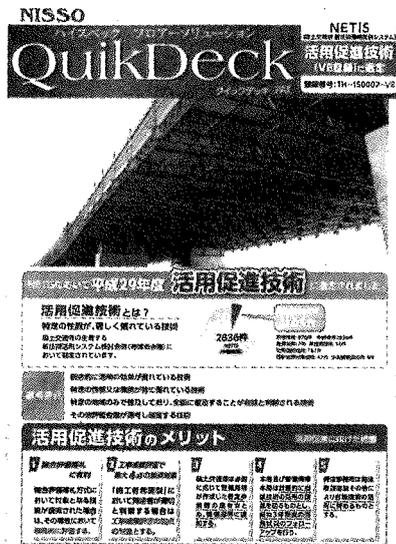
FAX268-6416

編集事業部情報室 4606

FAX221-4637

©建設新聞 2018

NETIS「活用促進技術」に選定



吊足場「クイックデッキ」

日 綜 産 業

日綜産業（小野大代表取締役社長）の先行床施工式フロア型システム吊足場「クイックデッキ」が、国土交通省の新技术情報提供システム（NETIS）で活用促進技術に選定された。

クイックデッキは、橋梁やプラント、大空間建築物などのメンテナンス工事に高い安全性、施工性、効率性を発揮する吊り足場。2014年6月の発表以来、納入・稼働中の現場は340件を超えている。

NETISには15年5月に登録。それ以降、国交省案件の施工実績や事後評価を重ね、17年12月に「活用促進技術」という形で有用な技術に位置付けられた。

同社では今後も採用件数を増やし、最高水準の「推奨技術」としての選定を目指していく方針だ。

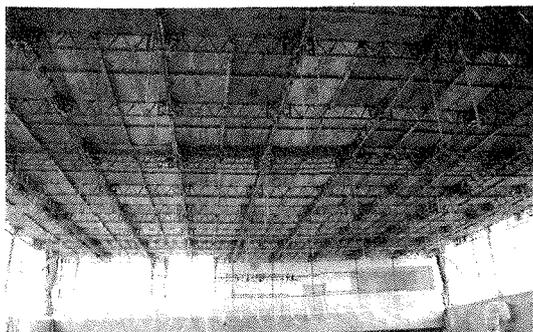
建設工業新聞

1月29日
月曜日

発行所 北陸工業新聞社

本社 〒921-8111
金沢市若草町2番42号
電話(076)241-8361(代)
支局 福井・富山・新潟

安全性高い吊足場クイックデッキ



クイックデッキの採用事例

NETIS活用促進技術に選定

日綜産業(東京都中央区)の主力製品である先行床施工式フロア

型システム吊足場「クイックデッキ」がこのほど、国土交通省の新技术情報提供システム(NETIS)登録で、有効な新技术として「活用促進技術」に選定され、VE登録された。

「クイックデッキ」は、2014年6月の発売以来3年半が経ち、15年5月にNETISに登録(登録番号「TH1150007-VE」)された。登録以降、国交省案件の

施工実績および事後評価を重ね、今回、四国地方整備局の新技术活用評価会議において審査された結果、昨年12月11日に活用促進技術に選定。今年1月18日からNETISのホームページで公開されて

日綜産業

「クイックデッキ」は発売以来、当初計画を大きく上回る好調な出足を見せている。作業の安全性はもちろん、機能性や施工性など従来製品を上回る特性が奏功、特に最近の建設現場で悩みとなっている建設技能者不足に威力を発揮しているのも好調の要因となっている。

これまでの採用実績は昨年12月末現在で343現場。内訳は橋梁の改修・更新工事、大型ショッピングモールや航空機組立工場新築工事の天井工事、精密機械工場や駅舎の天井改修、新幹線高架の改修工事など多岐にわたる。同社では今後も顧客の声を取り入れながら採用件数を増やし、常に進化した安全足場の提供を目指していく方針だ。

1月24日

2018年
(平成30年)

水曜日

第19004号(日刊)

土、日曜・祝日は休刊

Metal & Technology

鉄鋼新聞

日綜産業のシステム吊り足場

NETISの「活用促進技術」に

軽仮設機材メーカー(TIS)の活用促進技術
日綜産業(社長・小野 術(VE登録、登録番
大氏)の先行床施工式 号・TH15000
フロア型システム吊り 7-VE)に選定され
足場「クイックデッキ」
が昨年12月、新技術情 報提供システム(NE
2004年に米国の仮

設機材メーカー最大手
セーフウェイ(SAF
WAY)社が開発した。

作業床の先行設置やユ
ニットのシステム化な
どで、安全な簡易施工

・解体、工
期短縮が可
能。最大5
分の跳ね出
しで、これ
まで困難だ
った場所に
も設置でき
る。

日綜産業
では、オリ
ジナル製品
の持つ基本
構造の優位
性はそのま
まに、一部安全性を考
慮して同社従来製品の
機能や独自技術を組み
込んで日本仕様を改
良。14年6月から販売。
レンタルを開始した。
用途分野は橋梁の改修
・更新工事、大型ショ
ッピングモール・工場・
駅舎の天井工事など多
岐にわたり、343現
場で採用実績がある
(昨年12月末現在)。

日綜産業の「クイックデッキ」



NETISには15年
5月に登録。昨年12月
11日に国土交通省主催
の新技術活用システム
検討会議で活用促進技
術に選定され、今月18

日からNETISのホ

ームページで公開され
ている。
活用促進技術に選定
されると総合評価落札
方式で有利になること
や、施行者希望型で発
注者が適切と判断する
場合は工事成績評定で
最大4点の加点対象と
なるなどのメリットが
ある。

日刊建設工業新聞

1月29日月曜日

第19354号

NETISの活用促進技術に、日綜産業の先行床施工式フロア型システムつり足場「クイックデッキ」が、国土交通省の新技术情報提供システム(NETIS)の活用促進技術に選定された。NETISの活用効果評価を行った技術のうち、継続調査などが省略できるVE登録を受けたクイックデッキは15年からNETISに登録され、国が発注する工事などで施工実績を重ねてきた。

クイックデッキは、専用工具を使わず迅速かつ容易に組み上げられる点などが評価され、駅のホーム改良や大型商業施設建設、橋梁改修工事など多くの現場に活用された。採用実績は昨年12月末時点で343現場となっている。

これまでの実績が評価され、四国地方整備局の新技术活用評価会議での審議を経て「活用促進技術」に位置付けられた。

建設通信新聞

発行所 日刊建設通信新聞社
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-13-7
電話(03)3259-8711
FAX(03)3259-8730
©日刊建設通信新聞社 2018

械工場や駅舎の天井改修工など、多岐にわたって採用され、新幹線高架の改修工事など、

が、国土交通省のNETIS(新技術情報提供システム)登録で活用促進技術(VE登録)に選定された。選定日は2017年12月11日。1月18日からNETISホームページで公開されている。

クイックデッキは14年6月の発表以来3年半が経ち、15年5月にNETIS登録された。登録以降、同省案件の施工実績、事後評価を重ね、四国地方整備局の新技術活用評価会議で審議した結果、活用促進技術として、有用な技術に位置付けられた。

NETIS活用
促進技術に選定
日綜産業のク
イックデッキ
日綜産業の主力製品であるクイックデッキ(先行床施工式フロア型システム吊足場)

クイックデッキの採用実績は343現場(17年12月末現在)に上っており、橋梁の改修・更新工事、大型ショッピングモールや航空機組立工場新築工事の天井工事、精密機